
FUJIFILM Cellular Dynamics と Lonza iPS 細胞関連技術の利用拡大に関する合意を発表

- FUJIFILM Cellular Dynamics は、Lonza に対し、細胞治療用 iPS 細胞株の開発および治験薬製造を対象に、エピソーマルベクター・初期化因子といった iPS 細胞作製技術に関する特許を非独占的に使用できる権利を付与
- Lonza は FUJIFILM Cellular Dynamics に、革新的な Nucleofector® テクノロジーを拡大利用するための非独占的な権利を付与
- 本契約により、医薬品開発企業が両社のヒト人工多能性幹細胞 (iPS 細胞) の製造における専門知識と技術を活用することが可能に

2020 年 11 月 12 日、ウィスコンシン州マディソン(米国)・メリーランド州ウォークーズビル(米国) – iPS 細胞の開発・製造の世界的なリーディングカンパニーである FUJIFILM Cellular Dynamics, Inc. (フジフィルム・セルラー・ダイナミクス、以下 FCDI)、ならびに GMP グレードの iPS 細胞製造において世界的なリーディングカンパニーである Lonza Walkersville, Inc. (Lonza) は、全世界を対象とする契約を締結しました。本契約により、医薬品開発企業は、両社が有する専門知識と技術を iPS 細胞の製造に活用することが可能となります。

FCDI は、本契約に基づき、細胞治療用 iPS 細胞株の開発および治験薬製造を対象に、エピソーマルベクター・初期化因子といった iPS 細胞作製技術に関する特許を非独占的に使用できる権利を Lonza に付与します。また、Lonza は、細胞・幹細胞・細胞株への効率的なトランスフェクションを可能にする革新的な Nucleofector® テクノロジーの、非独占的ライセンスの拡大利用を FCDI に許諾します。

細胞治療は、臓器、組織および細胞を含むヒトの生態を増強、修復、または置換えることができる有望な治療方法として期待されています。iPS 細胞は、自己複製能力が非常に高いこと、分化万能性を有することから、細胞治療の開発・製造における重要な材料です。

Lonza の SVP, Head of Cell and Gene Technologies である Alberto Santagostino は、「細胞・遺伝子治療分野における真のリーダーとして、お客様に利益をもたらす、業界に透明性をもたらす合意に至っ

たことは、両社共通の目標が、高品質な iPS 細胞治療を適正な価格でお客様に提供することであることを示しています。また、今回 FCDI にライセンスを付与した革新的な技術である Nucleofector® テクノロジーを広範に活用頂けることを喜ばしく思います。この合意は、当社が保有する iPS 細胞関連の最先端のサービスラインアップをさらに強化するものです。Lonza の hPSC 用 L7™ 培地システムおよび非ウイルス性の 4D-Nucleofector® 遺伝子導入技術を併用することは、GMP グレード iPS 細胞のリプログラミングや培養に優れた方法です。」と述べています。

FCDI CEO の山本武氏は、「FCDI は、高品質・高純度・高再現性を実現するエピソーマル法による iPS 細胞作製の技術・ノウハウを有する、世界的なキープレーヤーです。Lonza との合意により、iPS 細胞株を医薬品開発企業にさらに役立てていただけることを喜ばしく思います。当社は、細胞治療の実現に貢献するため、製薬企業およびバイオテクノロジー企業に広く特許ライセンスを付与していきます。」と述べています。

Lonza について

Lonza では、技術革新と世界トップレベルの製造・工程卓越性を両立させています。これらを組み合わせることで、お客様に、医療、保存、保護分野での発見をお届けすることができます。Lonza は、医薬品、バイオテクノロジー、スペシャリティの原材料市場にとっての好ましいグローバルパートナーです。幅広い病気の治療や治療に役立つ革新的な医薬品をお客様にお届けすることで、病気の予防やより健康な世界の推進に努めています。また、幅広い微生物制御ソリューションを提供し、健康な環境の創出・維持に役立てています。スイスアルプスで 1897 年に設立され、現在 Lonza は 35 カ国以上の 120 の事業所とオフィスで運営されています。約 15,500 名の正社員と共に、Lonza は、高業績チームや自らの事業や地域社会に有意義な差別化を図る個人従業員で構成されています。同社の 2019 年の売り上げは 59 億スイスフラン、また CORE EBITDA は 16 億スイスフランとなりました。詳しくは、www.Lonza.com をご覧ください。

Twitter@LonzaGroup または Facebook@LonzaGroupAG でフォローしてください。

富士フイルムについて

FUJIFILM Cellular Dynamics, Inc. (フジフイルム・セルラー・ダイナミクス、以下 FCDI) は、創薬および細胞治療に利用される iPS 細胞の開発・製造におけるリーディングカンパニーです。FCDI は、iPS 細胞技術・ノウハウを活かし、加齢黄斑変性、網膜色素変性、がん免疫などの分野におけるアンメット・メディカル・ニーズにこたえるための強固な細胞治療パイプラインの開発に取り組んでいます。自社の iPS 細胞プラットフォームを利用し、パートナー企業が臨床開発を進めるための開発・製造受託 (CDMO) サービスも提供しています。また、細胞治療に加えて、iCell® 製品を含む創薬支援ツールも提供しています。iCell® 製品は、ほぼ全ての細胞種で入手可能であり、毒性試験だけでなく、新薬研究における標的分子の同定にも応用できる複数の細胞株から供給されています。また FCDI は、オーダーメイドの細胞を提供するサービスやセルバンキングに取り組んでいます。FCDI の目標は、iPS 細胞の高い有用性を活用して人々の健康を増進させ、世界中の患者様の QOL を向上させることです。

詳しくは、www.FujifilmCDI.com をご覧ください。

富士フイルムホールディングス株式会社 は、絶え間ないイノベーションの追求を通じて培った知識と基盤技術を活かし、世界の幅広い産業に最先端のソリューションを提供しています。独自のコア技術により、ヘルスケア、高機能材料、ドキュメント、イメージングなど、さまざまな分野に貢献してい

ます。これらの分野における製品とサービスは、化学、機械、光学、電子、およびイメージング技術の広範なポートフォリオに基づいています。2020年3月期の同社の売上高は2兆3151億円です。詳しくは、www.fujifilmholdings.com ご覧ください。

本書に記載されている全ての製品名および会社名は、登録所有者の商標である可能性があります。

本件に関するお問い合わせ- Lonza

Dr. Sanna Fowler
Head of External Communications
Lonza Group Ltd
Tel +41 61 316 8929
sanna.fowler@lonza.com

Dirk Oehlers

Investor Relations
Lonza Group Ltd
Tel +41 79 421 1609
dirk.oehlers@lonza.com

本件に関するお問い合わせ- FUJIFILM

富士フイルムホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
Tel 03-6271-2000

追加情報および免責条項

Lonza グループは、スイスのバーゼルに本社を置き、スイス証券取引所に上場しています。また、シンガポール証券取引所（「SGX-ST」）に二部上場しています。Lonza グループは SGX-ST の継続上場条件の対象ではありませんが、引き続き SGXST 上場マニュアルの規則 217 および 751 の対象となります。

本ニュース・リリースの記載事項は、将来の予測に関する記述を含む場合があります。これらの記述は、Lonza グループの現在の予測と推定に基づいており、これらの予測と推定の達成を Lonza グループが保証するものではありません。投資家の皆さまは、すべての将来の予測に関する記述がリスクと不確かさを含んでおり、全体として制限されていることにご注意ください。本ニュース・リリースに含まれる将来の予測に関する記述は、さまざまな要因により、実際の結果と大きく異なる場合があります。また、Lonza グループは、法律により要求される場合を除き、本ニュース・リリースに含まれる記述を更新する意図を有するものではなく、また、義務を負うものではありません。

本ニュース・リリースは、Lonza Group Ltd が、2020年11月12日（スイス現地時間）に発表したニュース・リリースを日本語に翻訳再編集したものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先します。

英文ニュース・リリース

FUJIFILM Cellular Dynamics and Lonza agree to expand the availability and use of induced pluripotent stem cell technology